

全社にわたるソフトウェア配信スピードの向上

柔軟でコスト効率のよいソリューションにより、ソフトウェアアップグレードやセキュリティソリューションを無駄なく配信し、帯域幅の利用率を最適化します。

中堅および大企業の IT 部門に共通する課題は数多くありますが、とりわけ重要なのは、コンテンツ(特にソフトウェア)をいかに素早く、効率的に配信するかというものです。ネットワークの帯域幅や利用可能な IT リソースに限りがあるという問題は、配信プロセスを複雑なものにします。その上、ファイルの複製や配信が自動化されていないと、IT の業務にはさらに多くの時間とリソースが必要になります。

ビジネス上の利点

- ダイナミックな拡張性
- セキュリティの強化
- ソフトウェア配信性能の改善
- TCO の低減
- 柔軟性の拡大

「コンテンツを管理しなければ、コンテンツに管理されてしまいます」

-- David Stafford, Technical Lead, Cisco IT Client Technology & Productivity Solutions

アプリケーションやセキュリティのアップグレード、ホットフィックスを全世界 50,000 台のワークステーションへ配信する必要が絶えなかったことを背景に、シスコ® IT では 2002 年、より効率的で信頼性が高く、費用効果の高い配信方法の展開を検討することになりました。当時のシスコ® では、クライアントへの配信ファイルの到達率は平均 60 ~ 75 % でした。そのため、デスクトップ管理スタッフは、ファイルを受信しなかった 25 ~ 40 % のクライアントデバイスの特定と、その原因究明に貴重な時間を割かなければなりませんでした。

そこで導入されたのが、Cisco Application and Content Networking System (ACNS) で、これによりシスコ IT では、1 台の Microsoft IIS ウェブサーバから 60,000 ものクライアントに限られた帯域幅でソフトウェア配信ができるようになりました。またネットワークを障害から保護し、配信が中断されてもシームレスに再開できるようにもなりました。Cisco ACNS では、

ユニキャストまたはマルチキャスト複製を使って、1 台の親サーバから 1 ~ 2000 台のコンテンツエンジンにソースコンテンツを配信できます。

Cisco ACNS の導入はまた、パッチやホットフィックス、ウィルスアップデートの配信時間短縮により知的財産の保護を実現し、システム障害を防いで年間何百万ドルにのぼる費用の潜在的な節約につながりました。

さらにソフトウェア配信を LAN 上のコンテンツエンジンが行うことで、配信スピードは向上し、ソフトウェアの緊急配信により営業時間中にシスコ WAN が輻輳する可能性は減少しました。また、従業員は悪意のあるコードから保護され、さらにパソコンの新規導入が素早く行えるようになったので、ユーザや各拠点では短時間で業務が始められるようになりました。

事例研究: <http://www.cisco.com/web/about/ciscoatatwork/index.html>

その他、各ビジネスソリューションに対する Cisco IT の事例研究は、
Cisco IT @ Work をご覧ください
<http://www.cisco.com/jp> (シスコシステムズ→Cisco IT@ Work)

付記

この文書に記載されている事例は、シスコが自社製品の展開によって得たものであり、この結果には様々な要因が関連していると考えられるため、同様の結果を別の事例で得られることを保証するものではありません。

この文書は、明示、黙示に関わらず、商品性の保証や特定用途への適合性を含む、いかなる保証をも与えるものではありません。

司法権によっては、明示、黙示に関わらず上記免責を認めない場合があります。その場合、この免責事項は適用されないことがあります。

©2004 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標または登録サービスマークです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館
<http://www.cisco.com/jp>

お問合せ先(シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

© 2006 Cisco Systems, Inc. All right reserved.

Important notices, privacy statements, and trademarks of Cisco Systems, Inc. can be found on cisco.com
Page 2 of 2